

第6回合同現場見学会

参加者が橋に名を記す

石巻市市街地復興工事調整会議は7月14日(土)に通算6回目となる「合同現場見学会」を内海橋周辺で実施しました。今回は築堤工事(プ



堤防一体空間の説明



工法などの説明



橋の構造などの説明



橋に名前を記入

ロムナード含む)や新内海橋工事の見学を行い、17人の市民の皆さまに参加いただきました。現場では、まちの将来を意識した事業目的やスケジュール、完成後の姿などについて質問が多く出され、このうち新内海橋工事現場

では橋梁上でも部材の実物に触れるとともに、見学会の参加記念としてコンクリートが打設される前の床面に記名するなど、建設中ならではの特別な思い出づくりも行いました。

参加者からは「石巻の復興の姿を改めて実感しました。」(70歳代男性)、「見学会を通じて復興事業がさらに

市民に開けたものになればと思います。」(20歳代男性)、「橋に名前を書いたのは初めてです。」(70歳代男性)などの感想が寄せられました。

調整会議の取組

狭い箇所の通行回避を調整

旧北上川沿いの藤巻地内の一部道路に狭い箇所があり、同地内周辺の築堤工事ではダンプトラックの通行に際し、往路と復路を変えるなど混雑を低減する取組を進めていました。

しかし、今年度になり、該当箇所が市街地北東部と中央部を結ぶ最短ルートであることから、複数工事の資材運搬



働く車の試乗体験「ペーパークラフトが人気」

イベント「2018リバイブいしのまき」を8月19日、中瀬公園で北上川フエアとの同時開催で行いまし

や取組のパネル展示を行ったほか、旧北上川や石巻南浜津波復興祈念公園の将来像をVR(バーチャル・リア

子どもたちの人気を集めたのは「ペーパークラフト」を製作する「働く車をつくってみよう!」のブース。夢中になってパワーショベルや排水ポンプ車などに挑戦して

市街地の復旧・復興工事を担っている施工業者で組織した安全協議会では「運転マナー向上」に努めて

向上」に取り組むため秋の交通安全週間に先がけ、9月18日に「交通安全集会」を石巻市総合体育館で開催

復興工事の状況 イベントでは



ではダンプトラックなどの試乗体験に行列ができ、好評でした。

交通安全集会開催

交通安全への意識高める

市街地の復旧・復興工事を担っている施工業者で組織した安全協議会では「運転マナー向上」に努めて

向上」に取り組むため秋の交通安全週間に先がけ、9月18日に「交通安全集会」を石巻市総合体育館で開催



状況を交えた警察からの講話



交通事故の撲滅・交通ルールの厳守を誓う

第9回

コラム リバイブ

復興と先人の思いを感じる街並み

内海橋周辺地区では、復興の形が目に見えて進んできました。隣接する「中央一大通り」「アイトピア通り」「立町通り」などの商店街と面的に街並みが作られてきています。



その街並みのなかに、石巻の歴史や先人の思いを感じることのできる貴重な建造物があります。「旧観慶丸商店」、通りに面した外観が、そのまま広告となる「看板建築」であり、「大海原を航海する船」をイメージして作られたと言われて



ています。また、通り名では、「アイトピア通り」に人々の思いを感じます。「アイトピア」の「アイ」には「出会い」とか「愛」が、「トピア」には「ユートピア(理想郷)」という意味があるのでは?いずれにしても、当時の人々の心意気を感じますね。